

## 評価問題例

- 1 1個  $a$  g のかんづめ12個を500 g の箱につめると、全体の重さは  $b$  g であった。この数量の関係を等式に表しなさい。
- 2 パン1個の値段が  $x$  円、牛乳1本の値段が  $y$  円するとき、「 $7x + 3y = 950$ 」がどのようなことを表しているか、場面を想像し、文章に表しなさい。
- 3 「 $5x = 7y + 1300$ 」  
この等式を日常生活の場面に当てはめて考え、文章に表しなさい。

## 評価問題のポイント

HOME

単元の流れへ

本時の流れへ

「関係を表す式」では、文章(現実場面)と文字との関係性をしっかりと見いだすことが大切である。文字の認識過程には、「状況の説明(問題文)の理解」、「数量や数量関係を言葉に表す」といった段階がある。評価問題においては、それぞれの側面を評価できるように問題設定をしなければならない。

1の問題については、本時の課題①を等式として表す類題であり、状況の説明の理解を見る問題である。何と何が結び合っているかに気付かせることが大切である。

2の問題については、 $x$ 、 $y$ の文字の定義がなされているので、状況の説明の理解と数量を言葉で表すことの両面を見る問題である。 $7x$ 、 $3y$ をバラバラに考えさせて、整理していくことが大切である。

3の問題については、本時の課題③と同様に、 $x$ 、 $y$ の定義がなされていないので、状況を自由に考え、文章に表現させる。多解問題でもあるので、丁寧に評価し、場合によっては、授業に返していくことが大切である。